

こんにちは!

No.175

令和4年2月1日

しばた議会です

★ 増額が見込まれるふるさと納税

★ 今期初 対面での一般質問

17人が町政を問う



「議会ネット中継」への
二次元コード

※詳しくは、柴田町ホームページ
を参照してください。

ふるさと柴田応援寄附金

議案第 34 号

令和 3 年度一般会計補正予算

新型コロナウイルス感染症の影響により中止や縮小となった事業に対する予算を減額する補正や、子育て世帯への臨時特別給付金事業や米価下落緊急支援対策事業補助、新型コロナワクチンの3回目接種のための費用など、新たな事業に対する増額補正です。また、ふるさと柴田応援寄附金（ふるさと納税）の増加が見込まれることから、その経費についても増額補正されました。

12月会議が12月6日から10日までの5日間の日程で開催されました。役場庁舎内の議場が改修工事のため、9月会議に引き続き榎木生涯学習センターでの開催となりました。

令和3年度一般会計補正予算など12件の議案と、議員発議1件が審議され、全ての議案が全会一致で原案通り可決されました。

なお、一般質問は、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いた状況であることから対面での1問1答方式で実施され、17人の議員が質問しました。（一般質問の詳細は6ページから12ページで紹介します）



子どもに人気のふわふわドーム

ふるさと納税の大幅増が見込まれるため、補正前の10億円から15億円増額し、補正後の額を25億円に増額補正しました。

なお、11月末現在の寄附件数及び金額は、6万2千886件、約11億1千100万円と昨年同時期の1.2倍となっております。

令和3年度から、使用項目に「桜のトンネルを行くスロープカー整備等に関する事業」、「子どものための冒険遊び場整備等に関する事業」が追加されました。

15億円

ふるさと柴田応援寄附金

ふるさと柴田応援寄附金額

令和3年11月30日現在

使途項目 (寄附者が選択する項目)	寄付申込額
桜のまちづくりに関する事業	6,840万5千円
"桜のトンネル"を行くスロープカー整備等に関する事業	536万円
教育に関する事業	7,620万5千円
子どものための"冒険遊び場"整備等に関する事業	3,076万5千円
福祉に関する事業	4,123万5千円
まちづくり(地域づくり)に関する事業	2,145万円
総合体育館に関する事業	414万5千円
図書館建設に関する事業	924万円
学校給食センター建設に関する事業	1,937万円
自治体におまかせ	8億3,482万6千円
合計	11億1,100万1千円



首都圏にプロモーション
(東京駅)



3年度産米 これから出荷

米の価格が下落した農業者を支援するため、10万円当たり4千円を補助するもの。

質疑 支給はいつごろか。

答弁 12月24日までの申請分は1月中旬に、最終期限の1月31日までの申請分は2月末日に支給したい。

1,900万円

米価下落緊急支援 対策事業補助

首都圏にさらにプロモーション

増額が見込まれる

12月会議

6,691万円

新型コロナウイルス 予防接種事業

新型コロナウイルスワクチンの3回目接種開始のための体制づくりに係る経費。

質疑 コールセンター等業務委託料2千500万円の内訳は。

答弁 8人に対応するコールセンター業務や、集団接種会場のスタッフ18人分の人件費など。その他にもパソコンや電話回線の使用料なども含まれている。

その他に：予防接種事業費には、ワクチン接種に従事する医師等への報酬や、接種券作成業務委託料などが含まれています。

4,907万円

みやぎ県南中核病院企業団負担金

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて経営が悪化したみやぎ県南中核病院に対し追加支援するもの。

質疑 追加支援の詳細な説明を。

答弁 恒常的な不採算による資金不足を解消するため。新型コロナウイルスの影響で感染拡大が懸念される検査や手術ができなかったことなどが要因。

現在は病院の努力や経営計画の練り直しなどにより、構成市町の負担は当初の5年間で6億円から4年間で5億円になった。



役場庁舎駐車場

4,015万円

庁舎・保健センター 駐車場整備工事

庁舎南側への駐車場整備、東側駐車場の舗装打ち替えや区画線の引き直し、新たに植栽帯を設置するための工事。その他にも、照明や閉庁時の駐車場進入を防止するための柵が設置されます。

質疑 整備により、何台の駐車が可能となるのか。

答弁 現状より19台分増え、約60台の駐車が可能になる。

質疑 整備される照明はどのようなものか。

答弁 太陽光発電の照明を4基整備する。

議案第32・33号

権利の放棄

町有地貸付料に係る債権9件、17万1千917円と、高額療養費貸付に係る債権12件、68万7千789円をそれぞれ放棄するもの。

質疑 差し押さえなどの措置はできなかったのか。

答弁 私債権に分類されるため、法的措置は取れない。

質疑 時効がすでに成立している債権が多くある。これまで債権を放棄しなかった理由は。

答弁 ※時効の援用がないと時効が成立しないため、これまで債権を管理してきた。

質疑 督促は実施してきたのか。

答弁 毎年通知を出してきたが、死亡などで返済が途中で滞ったりする案件もあった。

質疑 今回、債権を放棄する理由は。

答弁 債務者の所在不明や死亡により、債権の回収が不可能と判断した。

※時効の援用＝債務者が時効成立の主張を行うこと。その主張がないと時効が成立しない。

議案第3号

オンラインでの会議も可能に！

災害の発生時や感染症の蔓延などにより、委員会の開催場所への招集が困難と委員長が判断する場合、オンライン会議システムを活用して委員会を開催できるように条例を改正するものです。

また、委員が委員会の開催場所へ出向くことが困難で、オンラインでの参加を希望する場合、委員長が許可すればオンラインでの参加が可能となります。

令和3年度補正予算（12月会議）

会計区分	補正予算	補正後の額
一般会計	19億9,345万円	174億8,929万円
特別会計	国民健康保険事業	1億円 39億525万円
	介護保険	760万円 32億9,976万円
	後期高齢者医療	△277万円 4億2,399万円
	下水道事業	資本的収入
資本的支出		459万円 13億8,924万円

11月
会議

昨年引き続き…

職員などの期末手当を減額

11月30日に11月会議が開催されました。議案1件、議員発議1件が提案され、審議の結果いずれも原案のとおり可決しました。

議案第27号

職員及び町長等の期末手当減額

令和3年人事院勧告及び宮城県人事委員会勧告を踏まえ、職員の期末手当を0.15月分、町長などの期末手当を0.1月分それぞれ引き下げます。

討論 私はこう考える

反対討論

広沢 眞議員

コロナ下のこの時期に期末手当を減額するのは、経済低迷に消費拡大を必要とする経済状況に反する。人事院勧告はあくまで参酌基準であり、抛りどころを求めるあまり思考停止に陥らず考えてほしい。

賛成討論

桜場 政行議員

期末手当の支給率は昨年度に続き減額となるが、これは民間企業に従事する方々の給与水準を反映させたもの。コロナ禍で苦境に立たされている町民の皆さんの立場からすると、やむを得ない判断である。

議員も
議発第2号
議員の期末手当減額

議員についても、町長などと同様に、期末手当を0.1月分引き下げることが議員発議により提案し、可決しました。

1月
会議

1世帯あたり10万円を給付

住民税非課税世帯等への臨時と区別給付を決定

1月17日に1月会議が開催されました。報告1件、議案3件が審議され、原案のとおり可決しました。

議案第42号

令和3年度一般会計補正予算

国の政策である住民税非課税世帯等に対して1世帯あたり10万円を給付する『コロナ克服・新時代開拓のための経済対策「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業」』に関連した増額補正です。対象世帯は約4千750世帯を見込み、4億8千495万円を増額補正するものです。

なお、支給対象となる世帯には、1月下旬に確認書などが郵送され、2月上旬から受付が開始されます。

給付対象者の要件

(1) 非課税世帯
令和3年12月10日現在において、世帯全員の令和3年度分の住民税均等割が非課税である世帯
(2) 家計急変世帯
新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、非課税世帯と同様の事情にあると認められる世帯

1月会議専決処分の報告

柴田町は現金で10万円を一括給付

子育て世帯への臨時特別給付金

12月会議において、子育て世帯への臨時特別給付金5万円分を現金で給付するための補正予算を可決しました。しかし、12月会議終了後、国が10万円を現金で一括給付することを容認したため、10万円を現金で一括給付するための補正予算を新たに編成し、町長が専決処分したことが1月会議で報告されました。また、所得制限により給付の対象とならない方に対しては、町独自に10万円を給付することも併せて報告されました。



本会議出欠状況・議案などの審議結果

●本会議出欠状況及び審議結果一覧（11月・12月・1月会議）

区分	主な内容及び件名	期日	出席者数 出席	賛成	反対	議決結果	石森 靖明	伊東 潤	吉田 清	小田部 峰之	森 裕樹	加藤 滋	安藤 義憲	佐久間 光洋	平間 幸弘	桜場 政行	吉田 和夫	秋本 好則	大坂 三男	佐々木 裕子	広沢 真	白内 恵美子	平間 奈緒美	高橋 たい子	
本会議 11月	専決処分報告、議案審議	11.30	17				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月 本会議	町政報告、議案説明、議案採決（委員会条例）、一般質問	12.6	17				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問	12.7	17				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問	12.8	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問	12.9	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案審議、陳情	12.10	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
本会議 1月	議案審議、専決処分報告	1.17	17				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表す。

審議結果	柴田町職員の給与に関する条例及び柴田町長等の給与及び旅費支給条例の一部改正 4ページに記載	11.30	16	15	1	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 4ページに記載	11.30	16	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	柴田町議会委員会条例の一部改正 3ページに記載	12.6	16	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	柴田町財政調整基金条例の一部改正	12.10	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正	12.10	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	柴田町国民健康保険条例の一部改正	12.10	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	柴田町移動等円滑化のために必要な町道の構造に関する基準を定める条例の一部改正	12.10	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	権利の放棄（町有地貸付に係る債権） 3ページに記載	12.10	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	権利の放棄（高額療養費貸付に係る債権） 3ページに記載	12.10	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和3年度柴田町一般会計補正予算 主なものを2～3ページに記載	12.10	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和3年度柴田町国民健康保険事業特別会計補正予算	12.10	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和3年度柴田町介護保険特別会計補正予算	12.10	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和3年度柴田町後期高齢者医療特別会計補正予算	12.10	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和3年度柴田町水道事業会計補正予算	12.10	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和3年度柴田町下水道事業会計補正予算	12.10	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和2年度庁舎・保健センター耐震補強等工事（建築工事）請負変更契約	1.17	17	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	財産の取得（デジタル防災行政無線戸別受信機）	1.17	17	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度柴田町一般会計補正予算 4ページに記載	1.17	17	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表す。 ※「議」は表決時に議長のため、また「-」は表決時に議場にいないため表決に参加していないことを表す。

議員が聞いた町政への 一般質問

12月会議では、議員18人中17人が質問しました。

平間奈緒美 議員 見守り隊連絡協議会の設置を P6

- さくらマラソンの継続的な支援を

小田部峰之 議員 喫茶コーナーの営業時間を柔軟に P9

- 消火栓の目印板の更新を

平間 幸弘 議員 原油高騰に対する支援策は P7

- 柴田さくらマラソンの継続を

大坂 三男 議員 公共施設のトイレ環境の改善を P9

- 太陽の村にドッグランの設置を
- 地方創生の課題と今後の取組みは

石森 靖明 議員 乳幼児など予防接種助成拡大を P7

- 中教審の答申に対する町の姿勢は

佐久間光洋 議員 デジタル活用で予測防災の実現を P10

- 手話言語条例の制定を求める

安藤 義憲 議員 タブレットIDの管理は P7

- ゲーム障害対策は

秋本 好則 議員 CO2削減に町はどう取り組むか P10

- 避難所の備品ストックは十分か

白内恵美子 議員 持続可能な社会の担い手教育を P8

- 施設の窓口に筆談ボードの設置を
- 若い世代に選挙の投票立会人を

加藤 滋 議員 産業展示館の利用者拡大を P10

- 家庭ごみの減量に本腰を

伊東 潤 議員 中学生にも防災意識高揚を P8

- 保育施設の安全性を問う

吉田 清 議員 買い物難民対策を P11

森 裕樹 議員 ご遺族手続き支援コーナー設置は P8

- 子どもたちの安全対策の徹底を

桜場 政行 議員 地域活性化起業人の活用を P11

- 中学校の部活指導員の現状は

吉田 和夫 議員 寒い時期の接種体制は P9

- 本町に気象防災アドバイザーを

佐々木裕子 議員 来春「しばた桜まつり」の開催は P11

- ヘルプマーク・カード配布状況は

広沢 真 議員 宅地のミニ開発とどう向き合うか P12

Q 見守り隊連絡協議会の設置を

A 検討していく

平間奈緒美 議員



下校時もしっかり見守り

※スクールガードリーダーは各自治体の教育委員会から委嘱された防犯の専門家（警察OBなど）。地域学校安全指導員ともいう。

問 子どもたちの安全確保の取り組みとして、小学校ごとに見守り隊を組織し、登下校時の見守り活動をしている。*スクールガード・リーダーの増員は。

答 地域のつなぎ役として町全体を担うためにも、複数名を養成することが可能か、学校・地域と連携し検討していく。

問 学校ごとに組織体がないため、意見や情報交換を行えるよう（仮称）柴田町見守り隊連絡協議会を立ち上げては。

答 関係機関と連携を図り、立ち上げについて検討していく。

問 見守り隊が着用しているジャンパーは。

答 令和4年度の予算に向けて、薄いジャンパー形式のものを考えている。今後、連絡協議会の中で議論していきたい。

Q 原油高騰に対する支援策は

A 包括的に支援していく

平間 幸弘 議員



かさむ燃料代

問 農業では、米乾燥機燃料代の増や、花卉鉢花の生産者は冬季の燃料代の負担増がある。商工事業者においても、その影響が出ており、燃料高騰分を商品や製品単価に反映できる状況にはないと思われる。また、一般家庭への影響も大きい。町として支援策などの考えは。

答 農業では、燃油価格高騰分を補填する「施設園芸等燃油価格高騰対策」の制度がある。今後も関係機関と連携して、必要な施策を検討していく。

中小企業者に対しては、円滑な資金調達を支援するため「セーフティネット資金」及び「緊急経済変動対策資金」がある。これらの融資制度を周知し、利用を促していく。

一般家庭へは、原油高騰に限らず、コロナ禍の影響により厳しい状況にある方々の生活や暮らしを包括的に支援していく。

石森 靖明 議員



Q 乳幼児など予防接種助成拡大を

A 国などの動向を注視し検討する



痛いけど頑張ってる！

県内市町村の多くでは、乳幼児や小中学生へのインフルエンザ予防接種、乳幼児へのおたふくかぜ予防接種に対する助成制度を設けている。本町では中学生3年生のみ助成の対象である。

問 インフルエンザの流行で学級閉鎖などがあつた場合、子どもたちの学びや家庭への影響は大きい。本町においても助成制度を拡大すべきでは。

答 財政的な問題のほか、医療機関との調整などの課題がある。

問 おたふくかぜは難聴や不妊などの後遺症の可能性もある。安心して出産や子育てができるよう助成制度を設けるべきでは。

答 国で新たなワクチン承認を前提に定期接種化（公費負担）を検討しており、情報収集する。

問 予防接種に対する助成制度を前向きに検討できないか。

答 まずは、国や他自治体の情報を集めて検討していきたい。

Q タブレットIDの管理は

A 小学生は担任が管理

安藤 義憲 議員



上手に正しく使えるよ

問 GIGA構想に基づき、小中学校に配備されたタブレットのIDやパスワードの管理は。

答 小学生については担任が、中学生のパスワードは、個人でそれぞれ管理している。

問 他のタブレットにログインすることはいいのか。

答 グーグルのサービスを利用して管理されている。全てがクラウド上で管理され、高いセキュリティで守られており、不正ログインするのは非常に困難である。

問 ブルーライト対策は。

答 30分に1回は、20秒以上画面から目を離し、遠くを見て目を休ませている。画面を見続けられないよう各校に周知している。

問 ネットリテラシー教育はしているのか。

答 インターネットの利便性だけでなく、怖さや危険性があることを伝え、正しい判断が身につくよう指導している。

Q 持続可能な社会の担い手教育を

A 様々な学習に取り組み始めている

白内恵美子
議員



ユネスコスクールパンフレット

問 小学校・中学校の学習指導要領前文に「持続可能な社会の創り手となることができるよう」と明記された。教育委員会はどのように受け止めたのか。

答 学校教育において持続可能な開発のための教育を進めることは、個人の行動変容を促す観点から、持続可能な社会の実現に貢献できると思っている。

問 持続可能な社会づくりの担い手を育む教育（ESD）を、どのように進めていく考えか。

答 各学校では、SDGsや生物多様性の考え方を取り入れ、様々な学習に取り組んでいる。

問 ESDの推進拠点となる「ユネスコスクール」への加盟を、町内でも検討すべきでは。

答 加盟校では、世界中の学校と交流することやユネスコが行う様々な活動に参加の機会がある。学校の意見を聞きながら加盟について検討していく。



伊東 潤
議員



Q 中学生にも防災意識高揚を

A 有意義であり、募集を継続する



あなたはどうか行動しますか？

宮城県防災指導員養成講習を受講し、地震、津波及び風水害などに関する基本知識や備える防災対策を学んだ。中学生も参加していたのには驚いた。

問 今後も中学生の参加を促すのか。

答 若い世代が学ぶことは非常に有意義であり、引き続き中学生への個別募集を継続する。

問 中学校区ごとに、地域の方々も交え年齢を問わずに講習を行う考えは。

答 町社会福祉協議会に防災に関する出前講座がある。毎年自主防災組織の防災訓練や町内小中学校において実施している。

問 児童、生徒だけではなく、教職員にも参加を促せないか。

答 安全担当主幹教諭になっていない教職員は、受講が必須となっており、防災主任の教職員は任意での受講をお願いしている。

Q ご遺族手続き支援コーナー設置は

A ワンストップでできるようにする

森 裕樹
議員



安心して手続きを

問 令和2年度の2月会議において質問したが、死亡時の行政手続きは、一生に何度も経験するものではなく、ほとんどの方々が初めてであり、戸惑う方も少なくないと思われる。そこで「ご遺族手続き支援（おくやみ）コーナー」があれば申請書を一括して一枚で作成できる。高齢者や字を書くことが困難な方への支援が可能で、安心して手続きが完了できるよう、受付窓口の一本化に取り組むべきではないか。

答 町民環境課の窓口で、故人の生前の状況を聞き取りした上で、ご遺族が健康推進課、福祉課、税務課などでの手続きをカウンターの1カ所を活用し、臨機応変に職員が出向き、各種手続きの窓口として、ワンストップでできるようにしていく。

Q 寒い時期の接種体制は

A 外で待たないように対応する

吉田 和夫 議員



3回目接種も会場はここで

問 本町の12歳以上の接種率は、11月30日現在、12歳以上の接種率は、1回目3万540人で、88・62割、2回目3万165人で、87・53割となっている。

問 コールセンターに寄せられた住民の声は。

答 予約体制の苦情が多く寄せられた。意向確認後は、「自分がいつワクチン接種できるか」の問い合わせが増えた。

問 寒い時期の接種体制は。

答 積雪などにより足場も悪くなる。外で待つことのないようしっかりと対応する。玄関ロビーには暖房がないので、換気にも気を配り寒さ対策を行っていく。

問 自宅療養となった場合、食糧支援などできないか。

答 感染拡大により県の対応が難しくなった場合は、町でも食料支援ができるように、県と連携体制を協議していく。

小田部峰之 議員



Q 喫茶コーナーの営業時間を柔軟に

A 観光まちづくりを再認識させたい



癒しのひととき

問 観光物産交流館の喫茶コーナーの営業時間が短い。イベントに合わせられないか。

答 さくらの里内の喫茶コーナーは、柴田町観光物産協会と経営者がテナント契約を締結し、営業している。令和2年度以降はコロナ禍の影響を大きく受け、経営を継続するために、売上げと経費のバランスを保ちながら採算が取れる範囲内での営業を続けざるを得ないとのこと。花のまち柴田のブランド化を進める観光まちづくりの意義について、改めて再認識していただけるよう申し入れる。

問 本町のイベント情報などを、FMいわぬまでアナウンスしているが、もっと興味が湧くような工夫が必要では。

答 FMいわぬまとは、定期的な放送、町のイベント情報を提供していただく契約をしているので、伝えていきたいと思う。

Q 公共施設のトイレ環境の改善を

A 福祉センターのトイレ改修を行う

大坂 三男 議員



2年ぶりに開催 福祉まつり

問 福祉センターには和式トイレが残っており、洋式トイレも温水洗浄装置が付いていない。トイレの個室にも狭く窮屈で使い勝手が悪い。早急に改善を。

答 12月補正予算で東側トイレの和式便器を洋式化し、温水洗浄暖房便座を設置する。個室の入り口ドアと便器との間隔を広くし、手すりも設置する。多目的トイレはオストメイト対応とする。西側トイレは令和4年度当初予算で措置する。生涯学習センターのトイレは全て洋式化しているので、温水洗浄暖房便座設置の予算化に向けて準備を進める。

問 非常時に備えるため、避難所になる施設にマンホールトイレを準備する考えはないか。

答 災害時には非常に有効だが、設置費用が高額で、設置場所の確保も困難。まずは、新総合体育館に設置することを検討する。

Q デジタル活用で予測防災の実現を

A 詳細な事業内容を聞きたい

佐久間光洋

議員



内水氾濫を予測できるか

問 内水氾濫に対する予測システムについて提案する。
原理は、水路の水位と地盤の高さの比較であり、地盤の高さは宅地の入り口や避難所の高さなどを予め測っておき、水位の情報はスマートフォンでいつでも閲覧できるようにしておく。この二つを比較すれば危険度が察知できるというもの。
今のGPSはセンチメートル単位で測れるものがあり、そのためには基準局の設置が必要となる。太陽の村か船岡城址公園の頂上付近設置は可能か。

答 内水氾濫を予測できるというシステムについては、非常に興味深く考える。今回の提案では概要を把握することが難しいことから、詳細な事業内容について教えていただきたい。



秋本 好則

議員



Q CO₂削減に町はどう取り組むか

A 国に合わせ削減目標の見直し検討

問 国はCO₂削減目標を46割減に引き上げ、2050年のカーボンニュートラルも宣言した。
問 柴田町温暖化防止計画のCO₂削減目標を変えるのか。
答 国に合わせて46割減の見直しを検討する。
問 公共施設の電気代の総額は、1億457万円余りになる。
答 省エネセンターで省エネ診断が1万6千500円までできる。役場庁舎が改修された機会に診断をしたらどうか。
答 法的にどうなのか、義務があるのかの面から検討したい。
問 国の脱炭素ロードマップで先進100カ所を募集し、資源を集中して支援しようとしている。応募すべきではないか。
答 先進事例が出てくるので参考にして見ていきたい。
問 農地の太陽光発電ではソーラーシェアリングもあるが。
答 柴田ではまだ未知数と思う。



NH 東北太陽光発電所
(下名生土手崎)
出力 1,990Kw

Q 産業展示館の利用者拡大を

A 思源閣と併せて見てもらう

加藤

滋 議員



御自由にどうぞ

問 来館促進につながる広報は、町のホームページやしばた観光MAPなどに掲載。今後は観光パンフレットで紹介する。
問 利用状況や見学者数の把握が必要だと思うが。
答 誰もが気軽に見学できる施設だが、入場者数は把握していない。人感センサーなどのカウンターの設置を検討したい。
問 3つの小学校の3年生などが定期的に見学している。町内の小中学生がより多く訪れるよう、また住民の方が来館するための方策を検討できないか。
答 町の発展や町内企業の活動も紹介されている。特に柴田の未来を担う小中学生には、町の歴史や町内の工業製品を知ることができ貴重な施設である。仙南圏域の施設を紹介するAZ9パスポートへの掲載や、資料展示館「思源閣」と併せて見てもらうよう広報・周知を行う。

Q 買い物難民対策を

A 事業者と情報交換し対策を行う

吉田 清 議員



支援策の検討を

問 本町の高齢化率は。
答 本年3月末時点では30.4%で県内35市町村中25番目となっている。

問 ひとり暮らしの高齢者世帯数は。
答 1千352世帯。昨年より52世帯増加している。

問 高齢者夫婦世帯数は。
答 1千761世帯、昨年より83世帯増加している。

問 買い物についてのアンケート調査を実施したことは。
答 元年度に日常生活圏ニーズ調査を実施した。1千人を無作為に抽出し612人から回答を得た。

問 買い物難民の増加認識は。
答 年々増加し、健康問題も懸念している。

問 買い物難民を減らす方策は。
答 事業者と情報交換し、対策を行う。

問 はなみちゃんGOの運用は。利便性の向上に努めていく。

桜場 政行 議員



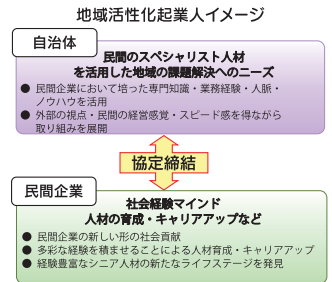
Q 地域活性化起業人の活用を

A プロフェッショナル人材を募る



問 地域活性化起業人制度をどのように捉えているか。
答 制度の概要は、地方公共団体が、三大都市圏に所在する民間企業などの社員を一定期間受け入れ、そのノウハウや知見を生かしながら、地域独自の魅力や価値の向上などにつながる業務に従事してもらい、地域活性化を図る制度である。

問 地域活性化起業人の活用を検討したのか。
答 制度の活用を検討するため、総務省主催の説明会などに参加し、情報収集を行っている。町としては、この制度を活用して、専門的な知識やノウハウ、人的ネットワークを持ち、柴田町から国内外へ広く観光の魅力を発信し、より効果的なシティプロモーションが展開できる人材やICTによる行政のデジタル化を推進できるプロフェッショナルな人材を募集する。



Q 来春「しばた桜まつり」の開催は

A 感染防止対策を取り開催予定

佐々木裕子 議員



年々早まる開花時期

問 コロナ禍においての、来春のしばた桜まつり開催は。
答 新型コロナウイルス感染症防止対策をした上で、開催を予定。

問 船岡城址公園で、今後開催予定のイベントで新たな企画は。
答 イベントを磨き、東北エリアを対象に観光戦略を強化する。

問 柴田町特産品で、お土産品の掘り起こしや開発の状況は。
答 料理酢の開発や町内の特産品を詰めた小包セットの販売。パドローンの佃煮や味噌、雨乞の柚子原材料とした商品開発など。

問 町の土産品に桜サミットで作った扇子を売り出す考えは。
答 業者と話し合いの上、検討。

問 障害のある方や椅子の方々がスムーズに移動可能な、サインの設置や歩道などの整備は。
答 船岡駅前通りの点字ブロック、役場前通りの歩道、城址公園山頂までの照明灯とサイン設置や園路施設などの改修を予定。

Q 宅地のミニ開発とどう向き合うか

A 人口減の歯止めとして歓迎

広沢

眞
議員



進む宅地開発

問 町内でミニ開発が増えることについて、どう捉えるか。
答 面積1千平方メートル以下の届け出が必要のない開発なので、把握は困難だが、人口減に歯止めがかけられるので歓迎している。
問 デメリットはないか。
答 届け出が必要ないことから、町の開発計画によらず虫食的に開発が進んでいくため、接続道路やライフライン整備などで問題が起きる可能性がある。
問 接続道路やライフラインは将来管理上、手に負えなくなるのでは。
答 地権者の自己責任で対応してもらおう。
問 今後、水害対策に欠かせない土地の可能性もあるのでは。
答 ミニ開発で行われれば規制のしようがない。町の開発指導要綱に基づいて指導するとともに、今後、国の基準が変更されることに期待をしている。

ちょっと
一息



そもそもな疑問

パート
2

一般質問って何?

一般質問とは、議員が年4回の定例会議において、町長などの執行部に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問したり、報告や説明を求めたりすることを言います。

一般質問をする議員は、その要旨を事前に通告することになっています。柴田町議会での一般質問の発言時間(答弁を含めない)は、一人30分以内となっています。

※12月会議は、感染症対策の観点から、質問答弁を合わせ50分としています。

質疑って?

質疑とは、議会の本会議や委員会での議案などについて町執行部に説明や考え方を求め、疑問点をはっきりさせることです。

質疑は自分の意見を述べることができません。同一の議題について質疑回数は3回まで認められています。

総括質疑って?

総括質疑とは、執行部から提案された議案(当初予算・決算)について疑問や不明確な点があるとき、町長に対して説明を求めるものです。提案された議案に関係することしか質疑できません。また、自分の意見を述べることができません。

議員の仕事は、年に4回の本会議と、常任委員会だけではありません。議会が活性化し効率化するように、下記のように色々な委員会が設けられています。

また、議会活動のほか、議員として普段から地区の住民や各種団体からの苦情や要望をききとり町へ提案していくことも重要な仕事です。

ICT推進PT(プロジェクトチーム) 7人 タブレット環境の推進
柴田町議会 HP リニューアルなど

議会懇談会実行委員会 7人 今年度は議会広報委員会が兼務
テーマを決めて町民との懇談会の企画・開催

議会活動活性化研究会 9人 議員活動の活性化を図ることについて研究
議員の活動量調査を実施

図書室管理委員会 4人 毎年希望図書を購入し、貸し出し管理を実施

本会議・常任委員会以外は 何しているの?



議会図書コーナー



活動量調査を検証中

「追跡」あれはどうなった？

テーマ：健康タウンプロジェクト シバタルク

常任委員会での調査事項や、議員が一般質問で行う提言が町にどう反映されているかを、「追跡」というテーマで取り上げます。

この発端と経緯

第5次柴田町総合計画後期基本計画
重点プロジェクト
フットパスによる元気なまちづくりの推進

各課それぞれの事業を展開。

But

縦割りのため、効果が不十分。

平成30年度12月会議
一般質問で町として歩くことに関する事業を
効果的かつ一体的に展開できるように提案。

結果

平成31年4月
各課の横断的な連携体制で推進するため、
歩くまち柴田推進委員会を設置

現在

令和3年4月
シバタルクの名称でポータルサイト公開。
現在、初級・上級動画公開中。



柴田で歩きたいが見つかる、
自分の歩き方やコースのレビューなど
発信交流できる入口となるポータルサイト。

「Shibata」+ 「Talk」+ 「Walk」

しばた 話す 歩く

を組み合わせさせた造語です。



さあ、一歩外へ。

シバタルクで紹介されている主なプログラムメニュー

- フットパスウォーク：風景や自然を楽しみ、交流しながら歩く。
- あぶQウォーク：阿武隈急行線の各駅をスタート地点に。
- 歴史ウォーク：船岡城址公園や町並みを歩きながら歴史や名所について知って感じる。
- 里山ハイキング：美しい田園風景や里山などの自然を満喫できるハイキングツアー。

歩くことは

地域コミュニケーションなどの社会面への効果及び健康の保持増進や介護予防など健康面への効果があります。一方、町並みや里山などで自然に親しみリフレッシュするなど精神面への効果、そして、歩くことの魅力を伝える地域としての観光客の誘客なども期待されています。

参加してみて

船岡東
やまなか えいいち
山中 栄一さん

ほぼ毎回参加しています。
とても満足していますので、
今後も続けたいと思います。



清々しい風を感じて



常任委員会レポート 各委員会で、町の現状について現地視察及び担当課から調査した内容を報告いたします。

よりよい町を目指して

総務

務

安全を担う隊員の確保

消防団、交通指導隊、防犯実動隊

調査日

令和3年10月7日、8日、11日

■活動状況

消防団、交通指導隊及び防犯実動隊の活動状況や隊員確保対策について担当課より状況の聞き取り調査を実施しました。

■委員会の視点

消防団

- ・消防団員の定数及び出動手当の適正額の見直し
- ・みやぎ消防団応援事業所を団員に紹介するとともに、登録事業者を増やすためのPRに努めること。

交通指導隊・防犯実動隊

- ・職務改善に取り組んでいる。今後も活動しやすい環境づくりに努めること。

■調査内容

- ・消防団の活動内容と定員確保
- ・交通指導隊の活動内容と定員確保
- ・防犯実動隊の活動内容と定員確保



文教厚生

通学路の安全点検

船岡小、西住小

調査日

令和3年10月6日、18日、19日

■活動状況

委員会では、登下校時に合わせ、通学路の安全点検を行いました。今回は船岡小、西住小学区を回り、スクールガード・リーダーや見守り隊から情報を得ながら児童の視点で点検しました。

また、町内福祉施設や小規模保育事業所から聞き取り調査を実施しました。

■委員会の視点

- ・船岡小、西住小の通学路における危険箇所の指摘。
- ・防犯灯のLED化の促進と設置。
- ・小規模保育事業所などの保育士のスキルアップのため、研修へ参加できるように配慮されたい。

■調査内容

- ・柴田町社会福祉協議会の活動状況
- ・障害児通園施設むつみ学園の状況
- ・小規模保育事業所の状況
- ・通学路の安全点検実施



産業建設

配水場の管理は

山田沢配水場、船迫配水場

調査日

令和3年10月7日

■活動状況

町内3カ所の排水機場（船岡五間堀・三名生・四日市場）の現地調査と山田沢配水場と船迫配水場の現地調査を行いました。

■委員会の視点

- ・配水場への出入りの際のチェック体制を整えること。
- ・船迫配水場のPCタンク外壁の劣化防止のための塗装の実施を。

■調査内容

- ・排水機場の管理状況
- ・貯水タンクの管理状況





団体懇談会

各委員会では、関係する各種団体と懇談会を開催しています。その内容を報告いたします。

総務

活動内容と人員確保策

消防団、交通指導隊、防犯実動隊と意見交換

開催日
令和3年10月8日

参加者 柴田町消防団 柴田町交通指導隊 柴田町防犯実動隊

町の安心安全を担っている柴田町消防団、交通指導隊、防犯実動隊で活躍している方々と懇談会を開催しました。普段の活動から人員の確保など活動していくための要望を伺いました。



■現状

- ・いずれの団体も団員隊員不足に悩んでいる。
- ・指導隊及び防犯実動隊については高齢化が進み、数年前にできた再任用制度を活用して隊を維持している状況。

■解決に向けて

- ・団員及び隊員募集方法として、県や町独自のパンフレットやポスターがあると良い。勧誘資料があれば、区の総会時などで紹介や勧誘活動につながる。

文教厚生

通学路の安全確保の課題

各小学校長とオンラインで意見交換

開催日
令和3年10月27日

参加者 柴田町校長会（小学校のみ）、教育長（オブザーバー）

今年度の活動テーマ「学校の教育環境について」の観点から、町内6小学校の校長先生方とオンライン懇談会を開催し意見交換をしました。



■現状

- ・通学路において安全マップや危険箇所マップを作成。
- ・学校では、それぞれの危険箇所を把握している。

■解決に向けて

- ・委員会では聞き取り調査をした結果を踏まえて、登下校時に合わせ通学路を歩き、指摘していただいた箇所や危険箇所の確認。修繕などが必要な場合は担当課につないでいく。

産業建設

柴田町観光物産協会の現状

観光物産協会と意見交換

開催日
令和3年10月8日

参加者 一般社団法人 柴田町観光物産協会

今年度の活動テーマであるアフターコロナの観光とまちづくりの観点から、柴田町観光物産協会と懇談会を開催しました。柴田町にある観光資源の独自性をどう打ち出していくかなどについて意見交換しました。



■現状

- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けている。
- ・太陽の村は屋外施設で活動ができることもあり、子育て世代の来場者が増えた。

■解決に向けて

- ・太陽の村は、歩行者の安全確保と大型バスが入れるよう道路の拡幅を。またキッズバイクパークの指定管理の在り方を考えていく。
- ・船岡城址公園のスロープカーなど施設の改修工事が必要。
- ・地場産品の在り方を考えていく。

上川名地区活性化推進組合

平成22年7月に発足した「上川名地区活性化推進組合」は、現在、組合員数33名（組合長 加藤嘉昭さん）で構成されています。地域食材や地場産品を生かした食文化の伝承や農林産物を生かしながら組合員相互の知恵と創意研究を高め、地元産農林産物提供、上川名構造改善センターを利用した「農村レストラン・縄文の幸」での弁当や仕出し料理の提供のほか、どぶろく「上川名」の製造販売も行い、イベントの開催や参加などを通して継続的に事業を展開、地区内外の人々との交流を活発に行っています。

地域の自然・歴史・食を再生保全することを地域ぐるみで取り組み、地域の資源を活用して都市部との交流を活発に行い、地域の活性化を図る組合です。

最近では、槻木小学校5年生の稲作の支援や、船迫中学校2年生の竹ホーク作りなど「しばたっ子応援団」として参加のほか、令和2年11月には上川名の歌「上川名讃歌」を制作発表するなど、精力的に活動しています。

ホームページ：<http://www.kamikawana.jp/>

メール：hotal@kamikawana.jp



サークル紹介

町内で活動しているサークルを紹介します



副組合長
おおぬま
大沼 あけみさん (上川名)

「農村レストラン縄文の幸」を中心に活動しています。コロナ禍でイベントなどへ参加出店の機会が減少していますが、お弁当などでたくさんのお客様にご利用いただき感謝いたします。



どぶろく製造担当
ささきとしひこ
佐々木 利彦さん (槻木駅西)

どぶろくには「飲む点滴+α」の栄養素があります。人体で合成されない9種類の必須アミノ酸を含んでおり、美容と健康効果に優れています。ぜひ「どぶろく上川名」をご愛飲ください。（お酒は二十歳になってから）



組合員
おおぬま ゆきひろ
大沼 之英さん (上川名)

イベントの運営や地区内外の草刈りなど、実働を中心に若手？の仕事をしています。今年の夏こそホテル鑑賞会を再開できるようにと願っています。コロナが収束したら、また上川名でお会いしましょう。

発行 宮城県柴田町議会 編集 柴田町議会広報常任委員会 宮城県柴田郡柴田町船岡中央三丁目3番45号 ☎0234-551226 印刷 伊藤印刷

目指せ ゴールド金賞!!

槻木中学校
吹奏楽部

編集を終えて

今年度も、まもなく終わりを迎えようとしています。
毎回慣れない編集作業で、先輩委員からのアドバイスを受けながら、皆さんに読んでいただける紙面づくりを目指して作成しています。
個人的に「男の料理教室」や「しばた100選ツアー」に参加しました。大変、楽しく勉強になりました。皆さんも町が企画する行事に参加してみたいかがでしょうか。（伊東 潤）

議会広報常任委員会

委員長	加藤 滋
副委員長	平間 幸弘
委員	石森 靖明
委員	伊東 潤
委員	吉田 清
委員	小田部 峰之
委員	平間 奈緒美

3月会議の予定

3月会議は **3月2日(水)**
午前9時30分開会予定

リニューアルした
議場で開催

※新型コロナウイルス感染症の状況により、日程は流動的です。
詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせください。

議会からの情報発信

柴田町議会活動を発信しています。ぜひご覧ください。

このしばた議会だより175号は、約16,450部作成しています。1部当たりの経費は約39.4円です。